

JLEM News Letter Vol. 25



第30回日本語教育方法研究会開催

発表 29 件 参加者 169 名

第31回は愛媛大学にて

2008年3月15日(土)、第30回日本語教育方法研究会が東京国際大学で開催されました。発表件数は29件、参加者は169名でした。

実行委員の川村よし子先生、学生のみなさま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、前日3月14日に運営委員会が開かれ、報告・審議がされました。詳細については、このレターの記事をご覧ください。

次回の研究会は、2008年9月20日(土)、愛媛大学において開かれます。みなさまふるってご参加くださいませ。

開催を終えて 川村よし子 (東京国際大学)

2008年3月15日(土)に、東京国際大学で第30回日本語教育方法研究会が開催されました。雨の予報も出ていたのですが、お天気が心配だったのですが、幸い当日は晴天に恵まれ、日本各地から多くの方が集まりました。発表は、教材開発や教育実践の報告等、日本語の教育方法に関するものに加えて、談話分析や言語活動の比較研究等多岐にわたるものでした。また、日本、中国、韓国ばかりでなく、スロヴェニアやキルギスからの発

表者・参加者も加わり、JLEMの国際化もすすんでいるように感じました。

開催校をお引き受けしたものの本学の会員は私一人で、皆様に御不便をおかけしたことも多々あったことと思いますが、運営委員の方々や会員の皆様の御協力のおかげで無事研究会を終えられました。この場を借りて改めてお礼を申し上げます。また、当日手伝ってくれたゼミの学生たちには、いろいろな方が声をかけてくださったようです。彼らは言語コミュニケーション学部の3年生で現在就職活動中です。日頃、社会人としてどう行動すべきかを考えさせてはおりますが、このような貴重な実践の場を与えていただいたことにも感謝いたします。

手作りの会、JLEMのよさを改めて感じた一日でした。皆様、本当にありがとうございました。

次回開催にあたって 向井留美子 (愛媛大学)

次回9月20日(土)のJLEMの開催は愛媛大学で担当することになりました。このような会をお引き受けするのは初めてで、果たして大任が果たせるのか心配ですが、どうかよろしくお願

いたします。愛媛県は日本語教育に対する関心が比較的高い地域で、活動も活発です。会の開催をお引き受けすることで、地域の関心がさらに高まればと期待しております。

愛媛大学は、空港やJRの駅からのアクセスもよく、大変便利なところにあります。10分ほど歩けば、松山城にも、道後温泉にも行けるという絶好の環境です。特に四国に足を踏み入れたことのないという方、JLEMのついでにゆつくり温泉につかって、新鮮な魚に舌鼓を打つというプランはいかがでしょう？皆様のお越しを楽しみにしております。

総会報告

2008年3月15日、東京国際大学2号館のJLEM第30回大会会場において、午後1時50分から総会を行いました。会員数は2008年3月10日現在549名ですので、出席者は定足数(会員数の10分の1)を満たしていました。

【報告事項】

①会誌バックナンバーの電子化について

詳細は運営委員会で継続的に検討しています。昨年9月の第29回大会で、将来を睨んで、第30回からは会誌執筆者に電子化に関する許諾をいただくとアナウンスしましたが、今回その手続きを取り忘れしました。次回からは忘れずに許諾をいただくようにしますので、ご協

力よろしくお願いたします。

②研究会の発表者・共同研究者・会誌原稿執筆者と会員資格について

定義と、会員資格との関係を明確にしました。具体的には事務局からの項をご覧ください。

③URLの変更

3月14日付けで、JLEMのウェブページが東工大から国立情報学研究所学協会情報発信サービスに移動しました。

新しいURLは

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jlem/index.html>です。1年程度は元のURLからも飛ぶように計ってあります。

④次回会場について

第31回大会は、2008年9月20日に愛媛大学で開催します。かの有名な道後温泉です。ふるってご参加ください。

【審議事項】

①会長・事務局の選任について

現会長才田と事務局名嶋は、2008年3月末で2年1期の任期を終えますが、3月14日開催の運営委員会で再度選出され、総会で承認されました。任期は2010年3月までです。再任は1回限りですので、次期会長・事務局を引き受けてもよいという機関は、お申し出ください。

②運営委員会委員について

前会長の仁科喜久子氏と前事務局長の小島聡氏の運営委員としての任期が満了し、退任が承認されました。運営委員としてはひとまずご退任いただきましたが、これからもよろしくお願いたします。

③2007年度決算と2008年度予算について

会計担当の馬場委員から報告し、承認されました。2008年度は、152万円の支出に予備費197万円余を加えた、計354万円余の予算規模で運営します。

④その他

前日の運営委員会で検討したJLEMの会の持ち方について、挙手による簡易アンケートを行いました。口頭発表の時間、本数、ポスター発表の時間、の3点について、いずれも現状維持が大勢を占めました。

(文責：才田いずみ)

運営委員会報告

総会前日の3月14日18時から21時半まで、東京国際大学において運営委員会を行いました。総会報告と重複しない事項だけ、ここに記します。

①運営委員会委員について

ウェブ担当だった小島委員の退任に伴い、松崎寛委員を新ウェブ担当とする。

②バックナンバーの電子化について

何のために電子化するか(残部のない号の問題と残部の保管スペース問題)を考え、あまり凝らずにPDF化する方向などで考える。過去の号の執筆者への許諾請求作業は、事務局がアルバイトなどを使って進める。

④非会員の当日参加について

従来どおり会員以外は会場に入れないとすると、非会員でもなれる共同研究者は、発表を聴くことができない。よって、今後は、非会員の大会当日参加を認める。参加費は2000円で、その大会の会誌を1冊進呈する。

⑤会誌の編集業務について

現在、会誌の編集は小野委員が行っているが、なかなか手数のかかる仕事であるので、印刷業者に委託できる部分(目次づくりなど)は委託する。これに伴い、編集作業に若干時間がかかるようになるため、発表申込み・原稿締め切りなどのスケジュールを少し早める(お知らせ参照)。

⑥今後の開催地について

2008年9月20日

愛媛大学メディアホール

2009年3月 神奈川大学

(白楽キャンパスか、みなとみらい地区かは検討中)

2009年9月 弘前大学

2010年3月

東京農工大学 小金井キャンパス

2010年9月 未定

(文責：才田いずみ)

事務局よりご連絡

●運営委員の異動について

前会長の仁科喜久子委員と前事務局長の小島聡委員が任期満了に伴い2008年3月31日をもってご退任になりました。お二人にはJLEMの運営に多大なご尽力をいただきました。特に仁科委員には、JLEMの発足時よりずっと運営委員を務めていただきました。ここに感謝の意を表し、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

●会長・事務局長の再任について

2008年3月15日に開催されました総会におきまして、才田いずみ会長と名嶋義直事務局長の再任が承認されました。任期は2008年4月1日から2010年3月31日までです。

●会誌の電子化について

会誌の電子化作業(PDFファイルをCD-ROMに保存)を進めております。過去の発表者の皆様には別途「電子化承諾の可否」をお伺いし、承諾していただける方には「承諾書」を提出していただくこととなります。2008年9月20日に開催いたします。第31回研究会からは、発表申込と同時に「電子化承諾の可否」をお伺いし、承諾していただける方には

「承諾書」を提出していただく予定であります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

●研究会のあり方について

2008年3月15日に開催されました総会におきましても審議いたしましたが、研究会のあり方について検討中です。会員の皆様から広くご意見をいただきましたと考えております。「口頭発表が必要か否か」や「講演について」、「ポスター発表の時間」等どんなご意見でも結構です。ご意見がございましたら、ぜひ事務局までお寄せください。

●発表応募資格や発表者・共同研究者の位置づけについて

次回第31回研究会の発表申込から発表応募資格を変更し、「申込時に会員であること」といたします。会員でない方は申込前に入会手続きをお済ませください。

また、発表者と共同研究者の位置づけも明確化します。詳しくは発表募集の際にもお知らせいたしますが、「発表者」は会員であることが求められ、会誌の執筆者になったり会場で発表したりすることができます。一方、「共同研究者」は必ずしも会員でなくてもよいのですが、連名であっても会誌の執筆者にはなれず、一部であっても会場で発表行為を行うこともできません。複数のメンバーで発表をお申し込みの際はご確認をお願いいたします。

(事務局 名嶋義直)

研究会申込スケジュールが変更されます

会誌の編集業務体制変更に伴い、第31回研究会から、申込スケジュールが変更されます。

発表申込も会誌原稿提出もこれまでより10日前後早まります。詳しくは別紙の「発表申込案内」を参照の上、お間違えのないようご準備ください。

会誌原稿の書式について

第30回研究会より、会誌原稿の書式が定められました。発表申し込みをなさる方は、申込後に送付される書式設定に沿って原稿を作成くださいますようお願いいたします。

運営委員を募集しています

運営委員の交代は運営委員会・総会でも議論されているところですが、会を支えてくださる方を引き続き広く募集しております。我こそはと思われる方、お気軽に事務局までご一報くださいませ。よろしくお願いいたします。

会費納入について

今年度の会費の納入をお願いいたします。過去の会費をお支払いいただいていない方も納入をお願いいたします。会費を2年間未納の場合は自動的に除名となりますが、除名後に再入会なさる場合には過去の未納分をお支払いいただきました上での手続きとなりますので、宜しくお願いいたします。

振込先：(郵便局)

記号 10140

番号 69076511

加入者：日本語教育方法研究会

*ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。氏名を先に後入力ください。印字の都合上、ご所属のみしか届かず、お名前が判明できない場合があります。

会費は3000円です。

2年間未納の場合は自動的に除名となります。

発行：日本語教育方法研究会

ホームページアドレス：

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jlem/index.html>

html (変更されました)

(編集 小林由子)